

# III 価値の共創に向けた3つのアプローチ

オール岐阜の取り組み姿勢の中で、相互のパートナーシップに基づき、子どものより良い育ちと学びを実現する必要があります。「大切にしたい3つのこと」を関係主体と共に創り出していく(共創)ために、教育委員会が担う3つのアプローチを示します。



## 1. 幼小をつなぐ

子どもは、幼児期の学びを経て、小学校教育における学びに移行し、大人へと成長していきます。幼児期から小学校教育へのつながりを考える上で重要なことの一つは、子どもに関わる者が、子どもの発達段階に応じた実態を理解・把握するとともに、関係者間でコミュニケーションを図ることにより、相互の教育・保育を理解することです。

多様な考え方を持つ教育・保育に関わる者同士が、子どもの実態を通じて共通の見通しに基づく対話を重ねることにより、各個人が、多様な視点を内在化させることができ、子ども理解が深まります。教育・保育施設は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に、連携しながら幼児教育に取り組むことが求められます。

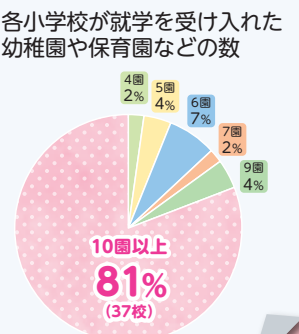
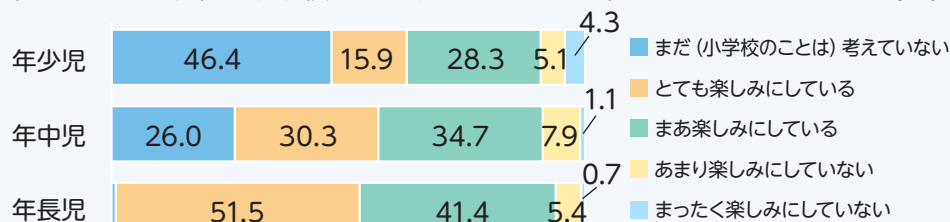
### タテの視点



岐阜市の年長児の多くは、小学校への入学を楽しみにしています。期待と不安が入り混じる中で、子どもたち自身が、成長の階段を一步上がることへの喜びを感じていることが読み取れます。

一方の、子どもたちを受け入れる公立小学校の多くは、10園以上の幼稚園や保育園、こども園などから子どもが入学しています。小1プロブレムを解消し、子どもの成長に寄り添う教育環境を実現するために、幼児期の教育と小学校教育の接続・連携を図ることが重要です。

Q. お子さまは現在、小学校への入学をどれくらい楽しみにしていますか。(%) 各小学校が就学を受け入れた幼稚園や保育園などの数

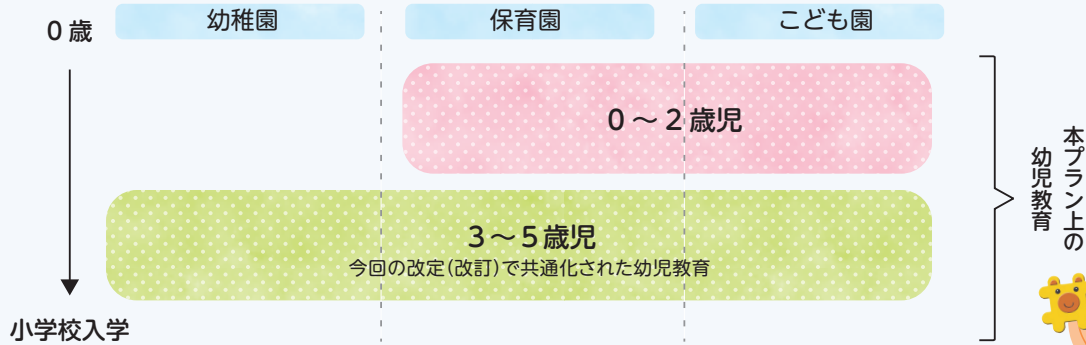


参考資料：岐阜市教育委員会・ベネッセ教育総合研究所「幼児期の家庭教育調査」  
岐阜市教育委員会「幼小の接続に関する市立小学校の状況について」2019.3



ヨコの視点

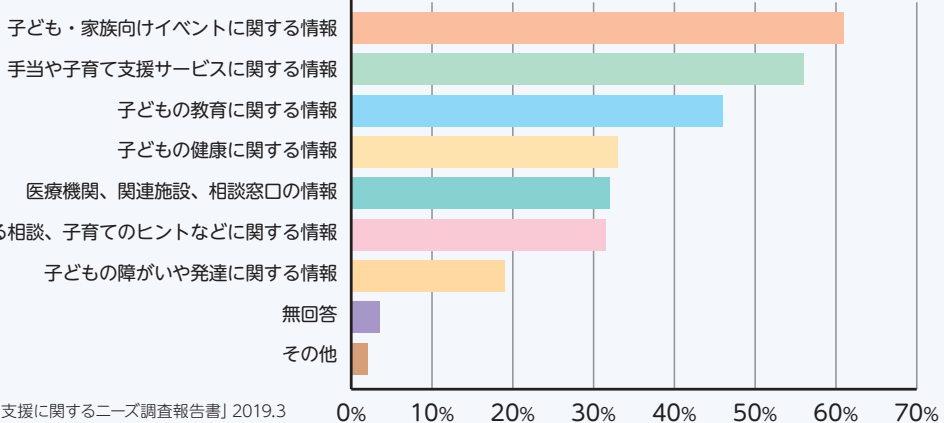
新たな要領・指針では、幼稚園・保育園・こども園の3歳から5歳部分について共通化され、いずれの施設も「教育施設」として共通の見通しをもって幼児教育を進めることとされました。岐阜市には、多様な教育・保育施設がありますので、それぞれの実践を通じて、対話を重ねるなどして、相互理解と質の向上につなげていくことが求められます。



## 2. 家庭教育を応援する

家庭教育は全ての教育の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣や他人に対する思いやりなどを身に付ける上で、重要な役割を果たします。家庭での子どもの育ちを支えるために、子育てに役立つ情報を発信するとともに、教育・保育施設や関係部局・機関と連携して相談に応じるなどして、家庭教育を応援することが必要です。

子育てに関して  
もっと知りたい情報  
(複数回答)



参考資料：岐阜市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書」2019.3

2016年2月に、岐阜市と連携協定を締結したベネッセ教育総合研究所の調査\*では、家庭で、子どもの「意欲を大切にする」「思考を促す」ほど、子どもの「がんばる力」が育ち、小学校中学年での思考力が高まるとしています。保護者が子どもの「思考を促す」というのは、子どものよい聞き手になる、子どもと同じ目線で共感するといった関わりであり、「がんばる力」に影響しています。

\*ベネッセ教育総合研究所「幼児期から小学生の家庭教育調査・縦断調査」



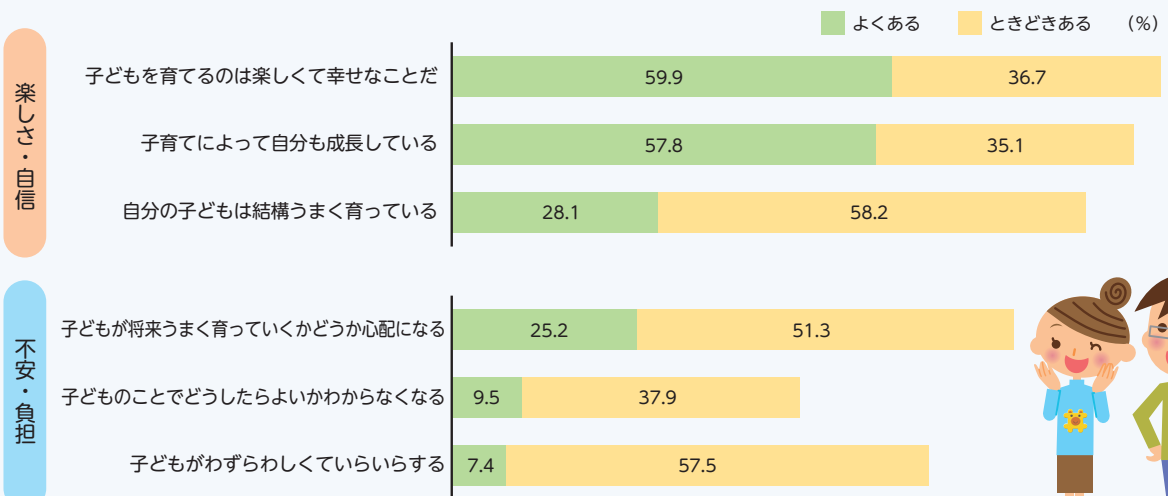
# III 価値の共創に向けた3つのアプローチ

## 保護者の子育てに向き合う気持ち

岐阜市の保護者の子育て肯定感(楽しさなど)は、8~9割程度(よくある+ときどきある)であり、高めの傾向にあります。

子どもは、周囲の大人に対する信頼感に支えられて自分の世界を広げ、自立した生活に向かいます。受容されることで、自己の存在価値を認識し、自己肯定感を育んでいきます。

Q. あなたは最近、子育てについて次のことを感じるものがどれくらいありますか。



参考資料：岐阜市教育委員会・ベネッセ教育総合研究所「幼児期の家庭教育調査」



子どもは、不安な時に特定の大人にくっつく(アタッチメント(Attachment))ことで、感情を落ち着かせたり、安心感を得たりします。自分を無条件に守ってもらえる人への信頼感を育み、心理的につながりながら、独り立ちへと向かっていきます。



現代の保護者は、自分の子ども以外で幼い子どもと接した経験が少なく、子どもが生まれてから手探りで子育てを始める場合が多くなっています。子どもが日々成長するように、保護者もまた、子どもと共に成長していきます。最初から立派な親などおらず、子どもの育ちに応じた関わり方を模索する中で親育ちが図られます。

## 親育ち



妊娠 出産 子育て

胎児 乳児 幼児

親育ち

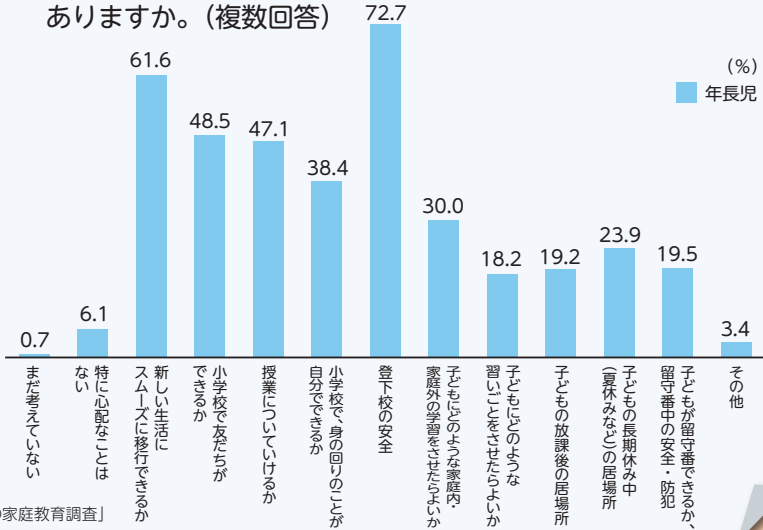
小学校進学に関わる保護者の不安



子どもの小学校入学に際しては、岐阜市の保護者の多くが様々な不安を感じています。特に、登下校の安全は約7割の保護者が心配しています。その他に、新しい生活への移行や、小学校での勉強のことなどが挙げられます。

参考資料：岐阜市教育委員会・ベネッセ教育総合研究所「幼児期の家庭教育調査」

Q. お子さまの小学校入学にあたり、保護者として心配なことはありますか。(複数回答)



### 3. 実践研究を推進する

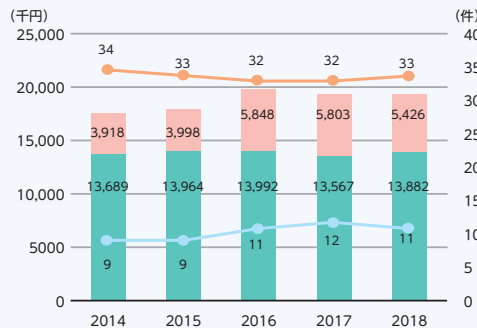
岐阜市では、幼稚園や保育園、こども園などの多様な学びの環境があります。多様な実践主体の存在を岐阜市の宝として、相互に磨き高め合っていく環境が理想です。そのために、オール岐阜で幼児教育の充実に資する実践研究が行われるための環境を整備するとともに、様々な取り組みについて率先して行うことが求められます。

子どもの姿を通じて

実践の可視化・共有化には、公開保育は重要かつ有効な取り組みです。子どもの姿を通じた幼児教育関係者間のコミュニケーションによって、子どもの生活や遊びを通じた学びの具体的な姿を理解し、認識を深めることができます。

私学振興補助金の補助実績

- 特別支援教育
- 特色ある学校教育
- 特色ある学校教育 (件数)
- 特別支援教育 (件数)



岐阜市の支援

特色ある教育や特別支援教育を支援することで、各主体の多様な実践が磨かれます。

公立教育・保育施設

2019年度時点で、岐阜市は、2園の公立幼稚園と20か所の公立保育所を設置しています。要領・指針の趣旨を踏まえた幼児教育の実践に向けて、これまでの経験から得られた知見を活かし、広く幼児教育の質の向上を図る役割を担っています。